

Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



Developed by Brainworx in partnership with Gallien Krueger and
Distributed by Universal Audio.





はじめに

800RBは、無数のレコードで聴くことができる深み、パンチのあるアグレッシブなアンプです。Gallien Kruegerの画期的なバイアンプ設計は、Red Hot Chili PeppersからNo Doubt、Slipknotまで幅広いジャンルのバンドに支持されています。100Wや300Wアンプごとに別のゲインノブを持ち、ハイエンド/ローエンド・トーンのキャラクターを完璧にコントロールすることができるので、音色を簡単にカスタマイズすることができます。4バンド・アクティブEQと3ボイスシングフィルターは、ボトムエンドからアタックまでのトーンを明確に表現します。

Brainworxは、Gallien Kruegerの絶大な人気を誇る名作をエミュレーションできたことを誇りに思っています。最新のモデリング技術を使用し、Universal AudioのUnison™プリアンプテクノロジーに対応、800RBプラグインは、オリジナルアンプのトーンやボディを本来の形で提供するだけでなく、デジタルワールドに必要な不可欠な機能も加えました。

内蔵FXラックには、ピックアップのハムやバズノイズを抑えるノイズゲート、ローエンドのもたつきやハイエンドのヒスノイズをカットできるフィルター、さらに、低い出力レベルでもドライブを加えるパワーソークスイッチを備えています。また64種類のレコーディングチェーンも含まれています。これらのインパルスレスポンスは、ビンテージのNeveコンソールとハイエンドのマイク、そしてアウトボードを使用してレコーディングされたブティックキャビネットからのインパルスレスポンスです。



この処理によって“即レコーディング可能な”音色を提供するプラグインが完成します。

各レコーディングチェーンは、“RC Info”ボタンをクリックすると詳細な説明が表示され、このサウンドを作るために使用されているキャビネット、マイク、処理が表示されます。800RBプラグインは、これらのレコーディングチェーン・モジュールが2基搭載されているので、各アンプのキャラクターを個別に微調整することができます。また、フェイズインバージョン、ソロ、チェーンモードの自動切換えなど便利なツールも用意されています。完璧にフィットするサウンドが得られるまで演奏を続けてください。



ハードウェアモデリングのノウハウとUniversal AudioのUnisonプリアンプインピーダンス・モデリングテクノロジーの融合により、800RBプラグインはオリジナルのアンプのサウンドとフィーリングを余すことなく提供し、プレイヤーはニアゼロレイテンシーで演奏が可能です。それは非常に正確で、本物のアンプでプレーしていることと錯覚するでしょう。



Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



特長

- 調整可能なクロスオーバーを備えたフルレンジ、またはバイアンプ設計により、高域と低域を別々にコントロールすることができます。
- 100Wと300Wのパワーアンプモデルに2つのマスターボリューム・コントロール
- 正確なトーンシェイプが可能な4つのアクティブEQバンド
- 3ボイシングフィルター（ローカット、ミッドコンツァー、ハイブースト）：これらにより、周波数全体のレスポンスをさらにシェイプすることができます。
- 全体のレベルを調整するためのマスターボリューム（プラグインのみ）
- 各パワーアンプ専用の2基のレコーディングチェーン：それぞれに、NEVE VXS72コンソール、アウトボード、ワールドクラスのマイクを使用して Brainworx studioで収録された64種類のスピーカーキャビネットのインパルスレスポンス、フェイズ、ソロ、オートセレクト、レコーディングチェーン・ツールティップスが搭載されています。
- ノイズゲート、アンプフィルタリング、内蔵パワーソークを搭載したFXラック
- Gallien Kruegerによって正式に許諾
- Apolloインターフェイス用のUnison™テクノロジーに対応

このプラグインの主な用途は以下の通りです。

1. Unisonテクノロジーを使用するためにApolloのHi-Z入力に接続してDIベースのサウンドをGK800RBに通してレコーディングし、それをDAWでエディットやプロセッシングすることができます。
2. スタジオのスピーカー、ホームステレオシステム、ヘッドフォン、またはベースアンプとキャビネットを使用してニアゼロレイテンシー（Apolloなど）で練習が可能です。
3. リアルなパワーアンプ、スピーカーとのセッティングによってライブ演奏可能。
4. ライブ演奏で使用し、ライブコンソールやインナーイヤースystemにダイレクトに接続することができます。
5. 他のシミュレーターでレコーディングしたDIベーストラックをリアンプすることができます。

サウンドのセッティング

本物のGK800RBチューブアンプを操作する時と同じようにこのプラグインのアンプセクションを使用することができます。ベースを（Apollo経由で）接続し、ゲイン、トーン、ボリュームをお好みに調整してください。



Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



参考になるヒント

- EQを最初に試すことを躊躇しないでください。アンプのEQを調整する前にベースの音をなるべく理想に近づけてください。
- まず、プレーするレベルを設定します。マスターを下げておきながらボリュームを上げたり、ブーストすることで太いサウンドを得たり、歪みを与えることができます。クリーンなサウンドを必要とする場合は、マスターを最大値近くに設定してください。
- クロスオーバーポイントとハイ/ロー・マスターの相対的なレベルを試してみると良いでしょう。これはEQを行う前に調整することをお勧めします。クロスオーバーがわかりにくい場合、バイアンプモードをオフにしてフルレンジモードで調整することを最初に行ってください。
- ベーシックなレベルが決まったら、ボイスフィルターで調整してみましょう。ローカットは、低域をロールオフし、大音量時にステージ上で起こる低域のもたつきをコントロールするために使用します。ミッドカットは約500Hzでノッチを行い、メローな丸いサウンドを作り出します。ハイブーストは、エッジとプレゼンスを加えます。
- レベルとフィルターの設定をしたら、トーンの微調整する準備が整いました。これはどの設定が自分にとって正しいか耳を使用して判断する必要のある複雑な手順です。サウンドスペクトルを4つのバンドに分割し、それぞれにアクティブなコントロールを提供します。この調整の手順は反復して行い、そして忍耐を必要とします。EQの調整が終わったら、クロスオーバーとマスターコントロールの微調整を行ってください。

Unisonテクノロジー



GK800RBプラグインは、Apolloシリーズのインターフェイスを念頭に開発され、Unisonプリアンプテクノロジーに対応しています。もちろんGK800RBはどのUAD-2デバイスでも動作しますが、もっとも重要なインピーダンスやリアルなアンプのスウィートスポットやサーキットの挙動を超低レイテンシーで体験するにはApolloインターフェイスが必要です。これを実現するには、ApolloのConsoleアプリケーション内のプリアンプインサートにGK800RBをインサートする必要があります。こうすることで、ハードウェアのアンプが持つ挙動を正確に再現することができます。



Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



レコーディングでGK800RBを使用する

優秀なプロデューサーが使うトリックの1つ: DIからのベースシグナルだけを録音しながら、トラック中にコントロールルームでリアルタイムモニタリングのために(小さいコンボなどの)実際のベースアンプを使用することがあります。録音したトラックを他のトラックと一緒に再生するときは、GK800RBプラグインを使用します。ドライなベースをスプリットしてコンピューターに録音し、同時に実際のベースアンプにもルーティングできるようにする必要があります。

最小のレイテンシーと最高のクオリティでドライのDIベースのトラックを再生しながら録音するには、ベースをApolloインターフェイスのHi-Zインプットに接続するか、ハイクオリティのDIボックスやマイクプリアンプをライン入力に接続してください。

GK800RBプラグインをConsoleアプリケーションにインサートすると(プラグインのレイテンシーを最小で使用するために)プロセッシング後のベースアンプのサウンドを録音する(Consoleのインサートエフェクトスイッチを“REC”にする)か、トラック中にアンプのサウンドをモニタリングしながらドライのDIベースのシグナルをレコーディングする(Consoleのインサートエフェクトスイッチを“MON”にする)かを選択してください。

プラグイン処理後のサウンドをモニターにのみ使用する利点は、ミックスダウン時にアンプとFXの設定の変更が簡単にできる点です。ミックスしている曲に対してゲインを後から増減させることも簡単にできるようになります。

プラグイン処理後のサウンドをレコーディングする利点はベーストラックがミックスする準備が整っているためにミックスダウン中に使用するプラグインの数を減らせることです。従来のベースアンプによるレコーディングと同じようにEQやコンプレッサーなどのエフェクトを加えるだけです。“自分のサウンド”を確立できたら、プラグイン処理後のベーストラックを録音すれば、それ以上の微調整やエディットをしなくても時間を節約することができます。このスピード感は、バンドのメンバーやプロデューサーに感謝されることでしょう。



Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



アンプセクションのコントロール

1 インプット -10db

これをオンにすると、インプットステージのゲインが10 dB低下します。

2 ボリューム

これは最初のゲインステージで、インプットレベルを調整します。

3 ローカット

カットオフ周波数200Hzのローパスフィルターを適用します。ローエンドが不鮮明になることをコントロールします。

4 ミッドコンツァー

約500Hzでノッチが加えられ、穏やかで丸いサウンドが得られます。

5 ハイブースト

シェルビングフィルターを加え、1kHzより上の周波数をブーストします。エッジや鮮明さを加えます。

6 トレブル

4kHz付近の周波数をブースト/カットし、エッジや鮮明さを追加、軽減します。

7 ハイミッド

約1 kHz付近の周波数をブースト/カットします。この帯域には多くの周波数成分を含んでいます。楽器の低域ハーモニクスに作用し、サウンドにパンチを与えます。

8 ローミッド

約250Hz当たりの周波数をブースト/カットします。この周波数帯は、サウンドのボディに影響を与えます。

9 ベース

約60Hz周辺の周波数をブースト/カットを行います。これはボトムエンドに影響し、部屋鳴りをコントロールすることができます。

10 ブーストパワー

ポストEQシグナルにゲインを与え、オーバードライブ/ディストーションを加えるブーストセクションに影響を与えます。





Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



1 ブースト

ブーストコントロールのレベルを調整します。

2 クロスオーバーフリークエンシー

100Wと300Wのパワーアンプ間のクロスオーバー周波数を調整します。

3 バイアンプパワー

バイアンプモードによって、100wと300wの両方のパワーアンプを使用することができます。

4 100Wマスター

100Wパワーアンプのマスターレベル

5 300Wマスター

300Wパワーアンプのマスターレベル

6 マスター

メインのマスターコントロールです。これは、ローマスターとハイマスターを合わせた出力に対し適用されます。0dBにすると、100Wマスターと300Wマスターは、オリジナルのハードウェアと同じように動作します。

FXラックのコントロール

ノイズゲート

7 クローズLED

このLEDが点灯しているときは、ノイズゲートが閉じていることを示します。これはスレッショルドの設定が入力信号よりも高く、ノイズゲートがアンプの出力信号をレンジコントロールで設定されている量低くすることを意味します。

8 ノイズゲート・オン/オフ

ノイズゲートのオン/オフを切り替えます。上に切り替えるとノイズゲートがオンになります。

9 スレッショルド

ノイズゲートは、入力信号が一定のレベルを下回ったときにアンプの出力信号を減衰させます。このレベルをスレッショルドと呼びます。オーバードライブしたアンプのノイズが減少するが、ロングノートや、サスティンを失うほど高くないようにスレッショルドを調整してください。



Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



1 レンジ

入力信号がスレッシュホールド値よりも低い場合、アンプのアウトプットが減衰、またはミュートされます。数 dB に設定することで出力レベルを下げることで、最大に設定すると一時的に出力をミュートすることができます。

アンプフィルター

2 タイトフィルター

タイトフィルターを使用すると、DI のベースシグナル(プリ)、またはプロセッシングしたアンプのアウトプット(ポスト)のどちらかの低域をカットすることができます。

- **PRE:** ピックアップから必要の無い低域のノイズを生み出す場合は、DI のサウンドがアンプにインプットされる前にローエンドをフィルタリングすることができます。
- **POST:** アンプ・セッティングのローエンドの一部をカットしたい場合、低域を減衰させるためにスタジオ・クオリティのハイパス・フィルターを使用することができます。
- **Off:** オフに設定するとタイト・フィルターはバイパスされます。

3 スムースフィルター

スムーズ・フィルターを使用すると、DIのベース・シグナル(プリ)、またはプロセッシングしたアンプのアウトプット(ポスト)のどちらかの高域をカットすることができます。

- **PRE:** ピックアップからヒスノイズが発生している場合は、DI のサウンドがアンプにインプットされる前にハイエンドをフィルタリングすることができます。
- **POST:** アンプセッティングのハイエンドの一部をカットしたい場合、高域を減衰させるためにスタジオクオリティのローパス・フィルターを使用することができます。
- **OFF:** オフに設定するとタイトフィルターはバイパスされます。

トリム

4 インプットゲイン

GK プリアンプのインプットをハード、またはソフトにしたい場合、好みに応じてインプットゲインを調節することができます。ビンテージベースのシングルピックアップは、インプットゲインを補う必要がある低いレベルのアウトプットの場合があります。反対にヘビーメタルスタイルのハムバッキングは、高い出力である場合が多くあります。ホットな DI シグナルがレコーディングされている場合や、GKアンププラグインを入力する前に他のプラグインを使用している場合、インプットを低減したくなる場合があります。もっとも標準的なベースを使用した場合は、インプットゲインは0に設定してください。



Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



1 パワーソーク

パワーソークは、現実の世界ではベースのパワーアンプの音量を下げるために使用します。(チューブ)パワーアンプがクリッピングし始めるまでドライブしても聴覚的な大きさはセーブし、近所に迷惑をかけることなくそのサウンドをレコーディングすることができます。クリッピングしたチューブ・パワーアンプは、ベース・アンプのシグナルに歪みや倍音を加え、ほとんどのギタリストが好むサウンドを出力します。パワーソークによってボリュームを抑えられたサウンドは、マスター・ボリュームで同じ音量に調整した場合と、サウンドが異なります。我々は、Ampeg のチューブ・パワーアンプの動作をモデリングしたので、アンプとパワーソークのマスター・ボリュームのセッティングを数通り試すことができます。最初に -10 dB の設定で試されることをお勧めします。

レコーディングチェーン

BrainworxのアドバンスIRテクノロジー

シンプルに“REG CHAIN”プルダウンメニューをブラウジングしてスピーカーと完璧なスタジオセットアップを選択してください。Brainworx のオーナーDirk Ulrich は、過去20年の間にDREAM THEATER、TOTO、MICHAEL JACKSON 等をはじめとする多くのアーティストとプロデューサーやレコーディングを行ってきました。ドイツのBrainworx Studio (www.brainworx-studio.de)では、これまでに9台しか製作されなかったNEVE VXS 72 コンソールの1台と最高級のアウトボード EQ やマイクプリアンプを所有しています。

この素晴らしいセットアップを使用して、DirkはGK800RBアンプ用にカスタマイズしたのせいでいにしてできる23しゆるいもの様々なレコーディングチェーンを用意しました。これをプラグインのセッティングに使用することができます。64種類もの完璧なマイキングやEQされたベースキャビネット等を1回のマウスクリックで簡単に使用することができます。使用したキャビネットには最大12本ものマイクを慎重にセッティングし、ビンテージのNeve VXSコンソールのチャンネルに送られました。このセッティングでは、使用した様々なマイクのミックスNeveフィルター、EQの適用を細かくコントロールすることができました。ファイナルミックスは、レコーディングするためにPro Toolsにルーティングされています。新しい手法が様々なプリアンプやEQチェーンのキャプチャーにも使用されています。3種類の異なるハードウェアプリアンプと、EQにスプリットされたパラレルチェーンを作成しました。これらのパラレルチェーンは、Neve VXSコンソール上の別々のチャンネルにルーティングされ、Pro Toolsに送られてキャプチャーされました。このルーティングにより各チェーンを個別にレコーディングしたり、それらを組み合わせてより面白いセッティングを作成することができます。



Gallien Krueger 800RB

Plug-in Manual



使用した外部機材:

1. チェイン: ドイツのTelefunken V76 PreampにMassenburg GML 8200 EQを接続
2. チェイン: AMEK 9098 channel strip
3. チェイン: SSL 4000 E Series with Black EQ

多くのアンプシミュレーションでは、キャビネットマイクを選択したインパルスが得られます。その後、EQに任せて異なるマイク設定、フェイズやEQの調整を行って設定を処理します。しかし、これは簡単な作業ではありません。それらを正しく行えるようになるには、多くの経験が必要になります。

レコーディングチェーンを選択するだけで、アンプチャンネルとセッティングに最適なサウンドが得られます。トーンスタックとゲインの調整を残すのみです。そしてリコールでき、信頼性も高く、フレキシブルさを素早く手に入れます。

何らかの理由でプラグインの提供するレコーディングチェーンが気に入らない場合、最後の設定(レコーディングチェーンなし)を使用し、自分のマイキングしたキャビネットや外部IRソフトを使用することができます。この設定では、コンソールに直接チューブアンプに接続したサウンドを送ることができ、良いエフェクトサウンドが得られます。

1 ホーン・オン/オフ

Gallien Krueger 2x10スピーカーキャビネットには、クラシックなアタックトーンをもたらすGK-Paragonホーンが搭載されていました。ホーンのインパルスレスポンスを別に作成することで、ホーンのサウンドを2x10キャビネットのインパルスレスポンスに加えるだけでなく、その他のキャビネットに加えられるようオン/オフ・スイッチを追加しました。

2 フェイズインバート

レコーディングチェーンのシグナルの極性を反転させ、発生する可能性のある問題を減らします。シグナルにウェイトやフォーカスが欠けていると感じた時にこのコントロールを試してみてください。

3 RC Info

選択したレコーディングチェーンを作成するためにどのような設定が使用されたかを表示します。

4 ソロ

100Wと300W レコーディングチェーンを独立して試聴することができます。



Gallien Krueger 800RB

Plug-in Manual



1 +/- スイッチ(プラス/マイナス)

レコーディングチェーンのテキストボックスにあるプルダウンメニューを使用するか、“+/-”記号をクリックしてREC CHAIN をブラウジングすることができます。

1 オート&パー・セクション

使用する曲に最高にマッチする REC CHAIN を探す場合、マウスで REC CHAIN を選び、2,3フレーズ弾いた後にまた次の REC CHAIN を探すためにマウスを使うという煩わしい操作をしなくても済みます。

GK800RBは、オートモードを採用しています。：パターン(1、2または4小節)を選択するとプラグインは DAW のテンポにシンクし、レコーディングチェーンのオートメーションを使用できるようになります。このようにして演奏を中断することなく、いくつかのレコーディングチェーンのサウンドを1、2、4小節ごとに自動的に切替え、試すことができます。

スピーカーセットアップで聴きながらちょうど良いREC CHAIN が見つかったら、もう一度 AUTO ボタンを押し、オート・モードを停止し、必要な REC CHAIN を選択してトーンやゲインを調整して音作りを進めてください。

レコーディングチェーンに使用しているキャビネット

- Gallien-Krueger 115SBX-II 400W - 1x15" GK-Paragon 15B400A-8 ウーファー / GK Paragon GK 5H50-8 ツィーター
- Gallien-Krueger 210SBX 200W - 2x10" GK-Paragon GK 10B100-16 ウーファー / GK-Paragon 5H50-8 ツィーター
- Ampeg SVT 15E 200W - 1x15" カスタムデザイン・スピーカー
- Ampeg Heritage B-15Nキャビネット - 1x15"カスタムEminenceスピーカー
- Ampeg SVT-410 HLF 500W 4x10 カスタムデザイン・スピーカー
- Ampeg SVT 810E 800W - 8x10 Eminenceスピーカー
- Marshall 1960TV Lead 100W - 4x12" Celestion Greenback G12M-25



Gallien Krueger 800RB

Plug-in Manual



トップツールバー

1 アンドゥ/リドゥ

GK800RBプラグインが変更したコントロールを、最大32ステップでいつでもアンドゥ/リドゥすることができます。セッティングを元に戻したくなった場合はいつでもアンドゥを使用することが可能です。これにより実験的なセッティングを試すことも簡単になります。もし、それが気に入らなければ元に戻すだけです。

2 セッティング (A/B/C/D)

GK800RBプラグインは、すべてのプリセットに保存することができる4個の内部セッティング (A/B/C/D) があります。1 プリセットにつき、最高で4個のアンプとエフェクト・セッティングのバリエーションを保存することができます。

低域を増減させたり、異なるレコーディングチェーン設定の使用など同じアンプ設定で様々なサウンドを素早く切り替えることが可能です。また、これらの設定をDAWでオートメーション化することが可能です。

3 コピー / ペースト

同じサウンドのバリエーションを作る場合、何度も一から音作りをする必要はありません。セッティング A のバリエーションをホーン無しでして B に作ると仮定します。:

- セッティング A を選択し、“COPY”をクリックします。
- “SETTING”セクションで B に切替えます、
- “PASTE”をクリックすると A のセッティングを再現します。
- ホーンをバイパスして終了です。

たったこれだけの操作で A と B はホーンの有無以外はまったく同じサウンドになります。

4 FXラック

FXラックビューとスタンダードビューを切り替えます。

5 アバウト

プラグインの開発に関する情報を表示します。



Gallien Krueger 800RB

プラグインマニュアル



ファクトリープリセット

GK800RBプラグインのプリセットをたくさん作成しましたがその多くは、お使いのベースとも完全にマッチするように作られています。これらのプリセットは、簡単な スタートポイントを提供し、プラグインで作ることができるトーンの一部をデモするためのものです。

オリジナルのサウンドとプリセットを作成

オリジナルのサウンドを作るときに調整する最も重要な要素は、トーンセクションとレコーディングチェーンです。

- トーンスタックのコントロールを中央の位置(12時)に設定してください。
- 多くのレコーディングチェーンで演奏し、ノブを調整する前に探しているサウンドに近いものを選んでください。
- 求めているサウンドに最適なレコーディングチェーンが見つかったらトーンスタック、クロスオーバー、マスターボリュームを調整して、アンプの設定をカスタマイズしてください。
- ホーンを加えたり、サウンドのバリエーションとしてフィルターやノイズゲートをオンにしてください。
- 演奏をお楽しみください！

多くの実験をしてみてください。アンプのセッティングやレコーディングチェーンによって異なるトーンを提供する膨大な選択肢は、様々な音楽ジャンルにとって素晴らしいサウンドを提供する組み合わせを提供できると確信しています。

GK800RBと他の UAD-2 プラグイン(ダイナミクス、エフェクト、ルームシミュレーションなど)と組み合わせて数えきれないほどのワールドクラスのプロダクションに対応するベースサウンドを作成できます。ぜひ、お楽しみください。





BRAINWORX

プラグイン、ロックアウト！ - www.brainworx-music.de